

12月は『寄付月間』です



▲寄付月間共同事務局
公式ホームページ

寄付月間は、全国的な寄付の啓発キャンペーンです。

NPO、大学、企業など、寄付に係る関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会を作るために、12月の1か月間を「寄付月間-Giving December-」にしようと、平成27年から始まりました。12月は一年で最も寄付が集まりやすい時期と言われています。

コンセプトは、「欲しい未来へ、寄付を贈ろう」。1年の終わりの12月に、寄付について考えたり、実際に寄付をしてみたりと、自分のできることを自分なりにやってみようという掛け声のもと、令和6年には1,194もの団体が賛同パートナー（※）として名を連ね、81件の寄付月間賛同企画が実施されました。相模原市もこの趣旨に賛同し、令和2年度から賛同パートナーになっています。

※ 賛同パートナー

「寄付月間-Giving December-」の趣旨に賛同する企業、団体等が、事務局に申請し、承認を受けて賛同パートナーとなります。賛同パートナーになると、寄付月間のHPにロゴが掲載されます。

1年の終わりに、寄付について考えてみませんか？

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。
Giving December
寄付月間

寄付はお金だけだと思われていますが、例えばチョコレートを買うときに寄付付きを選ぶことも、空き時間を使って地域清掃や学習支援ボランティアに参加することも、大きい枠組みで言うと「寄付」のひとつなんですね！この機会に寄付について、改めて考えてみませんか。

寄付は、あなたの「こうしたい」を叶えるための1つの手段です。



裏面もご覧ください

寄付にはどんな方法(種類)があるの?

不要品を寄付



使わなくなったランドセルや読まない絵本を寄付する、フードバンクに缶詰を持ち込む

ふるさと納税



生まれた故郷や応援したい自治体に寄付する（寄付金の使い道を指定）

時間を寄付



空いた時間で地域清掃に参加する、子どもたちへの読み聞かせボランティアに参加する

経験・知識を寄付



学習ボランティアとして子供たちに勉強を教える、地域の観光名所の案内人を務める

クラウドファンディング



災害被災地を支えるクラウドファンディングに参加する

その他の方法



気になる・発展してほしい分野のNPO法人や市民団体等のイベントに参加する

相模原市は「寄付月間」にどんな取り組みをしているの?

12月13日（土）から12月26日（金）まで、市立図書館1階の入口付近「児童ちしき」前に寄付に関する特集コーナーを設置しています。寄付に関連するブックリストも配架しますので、是非チェックしてみてください。

12月中に市立図書館・橋本図書館・相模大野図書館で配布される「図書返却期限票」の裏面に、寄付月間にに関する記事を掲載します。図書の返却期限を確認する際に、是非ご覧ください。

12月1日（月）から12月31日（水）まで、市内公共施設等のデジタルサイネージで「寄付月間」PR動画を放映しています。

<動画の放映場所>

中央区：中央区役所区民課前インフォメーションコーナー・大野北まちづくりセンター・

田名まちづくりセンター・上溝まちづくりセンター

南区：ユニコムプラザさがみはら（市民・大学交流センター）・

イオン相模原2階連絡通路（古淵駅）・

相模大野駅北口デッキ・市立市民健康文化センター

緑区：市立北市民健康文化センター（LCA国際小学校北の丘センター）



今年度の図書館返却期限票▼



相模原市ホームページ内
「寄付月間」のページ▼

